別記様式（第４条関係）

会　　議　　録

会議の名称	平成 26 年度第 3 回宍粟市地域包括支援センター運営協議会	
開催日時	平成 27 年 3 月 18 日（水）　13：30～15：15	
開催場所	宍粟市役所北庁舎 4 階　401 会議室	
議長（委員長・会長） 氏　　名	垣尾会長	
委員 氏　　名	（出席者） 垣尾委員・山下委員・淡井委員・ 中塚委員・大谷委員・小倉委員・ 藤元委員・秋田委員・谷林委員・ 船積委員・河野委員	（欠席者） 山下委員（司法書士）・ 春名委員・杉本委員
事務局 氏　　名	浅田部長、福山課長、篠原課長、平山課長、平瀬課長、砂町副課長、谷林係長、坂口、亀井	
傍聴人数	0 人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） 議題 ・宍粟市老人福祉計画及び第 6 期介護保険事業計画の策定 ・医療と介護の連携推進 ・平成 27 年度事業の取り組み ・宍粟市地域包括支援センター運営協議会のあり方 ・地域包括ケアの啓発について 決定事項 ・地域ケア推進会議を地域包括支援センター運営協議会と兼ねる ・新たな専門部会の設置（認知症施策検討会生活支援サービス推進会議）	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	

議事録の確認 （記名押印）	（委員長等） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

（会議の経過）

発言者	課題・発言内容
事務局	開会 事前配布資料と追加資料の確認 山下委員(司法書士)、春名委員、杉本委員欠席
垣尾会長	あいさつ
事務局	３の報告及び協議事項は、進行を垣尾会長にお願いしたいと思います。
事務局	３（１）宍粟市老人福祉計画及び第 6 期介護保険事業計画の策定 資料１ 地域包括ケアシステムが重要、イメージについては広報等で周知をします。詳細はホームページに掲載しています。 ３（２）医療と介護の連携推進　資料２ 地域包括ケアシステムを構築するためには、医療と介護の連携はかかせません。医療と介護連携会議を平成 26 年 12 月 24 日に設置し 13 名で構成しています。医療講座については今年度 2 回開催しました。介護保険施設、訪問介護、通所介護、療法士の連絡会も開催しました。
垣尾会長	３（１）（２）について質問ありますか？
山下委員	資料２の施設整備の検討のところで、既に決まっている所はありますか？
事務局	まだ決まっていないため公募していく予定です。
事務局	３（３）平成 27 年度事業の取り組み　資料３ 二重線の事業は平成 26 年度の重点事業 「認知症高齢者ひとり外出見守り・徘徊ＳＯＳネットワーク」については、「見守りＳＯＳネット」とし周知していく予定です。 該当者の登録は平成 27 年 4 月 1 日から開始します。
垣尾会長	意見等ありますか？

河野委員	地域サポート型特養とは？
事務局	「サンホームみかづき」が県の指定を受け、24 時間の見守り体制を整備している。緊急時の対応や安否確認も行っています。
垣尾会長	以前テレビで見ましたが、地域のボランティアの方が特別養護老人ホームでお手伝いされ、地域に開放している施設が紹介されていました。
事務局	３（４）宍粟市地域包括支援センター運営協議会のあり方　資料４ ① 運営協議会の構成員で地域ケア推進会議を開催したいと考えています。現在の構成委員に加え、歯科医師会やケアマネジャーで検討しており、新たに運営要綱も制定する予定です。 ② 介護支援専門員部会は既にありますが、「認知症施策」と「生活支援サービス」について検討する部会も設置したいと考えています。 ① ②について協議していただきたく思います。
藤元委員	生活支援サービス推進会議の構成員に運営協議会の構成員の職種ははいっていないが、入った方がいいのではないだろうか？
事務局	今から構成員を選定し重複される方もあるかもしれないが、今の構成員で部会を構成するわけではないことを了承いただきたいと思います。
垣尾会長	会議の役割を理解し、意見を出し合い協力していくという方向で事務局からの提案に賛同いただけますか？
構成員	全員賛同
事務局	３（５）地域包括ケアの啓発について　資料イメージ 地域包括ケアは行政だけでは難しく、地域や関係機関の協力なしには構築できず、共通認識を持つことが大事です。 平成 26 年度はシンポジウムを開催しましたが、平成 27 年度は地域住民、地区組織に周知や働きかけをしていきたいです。 日常生活圏域を旧町単位で設定していますが、自治会での支え合いづくりが必要です。
垣尾会長	住民には分からないことが多く、理解してもらうよう周知していくことが大事です。委員からも提案していきたいと思います。

垣尾会長	おひとりずつ意見をお願いします。
小倉委員	ふれあいサロンやいきいき百歳体操をしているが、継続的な取り組みなので、予算をつけていただきたい。
事務局	検討します。
大谷副会長	社会福祉協議会の役割がかなり大きいと思います。
事務局	社会福祉協議会は地域福祉の担い手として第一線で活動されています。役割も大きく、連携して取り組んでいきます。
事務局	地域サポート型特養の補足説明
山下委員	地域で支え合うことの大切さについて職場内で情報提供し、家族へも伝えてほしいと思います。
淡井委員	地域包括ケアシステムについては職場でも勉強会を開きました。介護保険料の増額によって、住みにくくなるのではなく、住みやすい町になることを願っています。
中塚委員	施設職員もまだ分からない事が多いため、地域住民の理解はもっと難しいことだと思います。
小倉委員	個々の問題として捉え、見守り隊の結成や近所同士が支え合うことが大事だと思います。
藤元委員	介護保険料が増額することで、認知症を患っている家族にとっては家でも看ることも難しく、施設にも入所できない、自分の生活を圧迫している状況になります。しそうチャンネルは山崎管内に入っていない所も多く、高齢者にとっては広報を見るのも大変。当事者（介護者）同士で意見交換し広めていけばいいのではないでしょうか。
秋田委員	私にできることは何だろう？と考えると、生活支援サービスの内容は私にもできると思いました。若い世代が周りになく、自分で何とかしないといけない時代で、一人暮らしの高齢者等に声掛けをしていこうと思います。

谷林委員	地域包括ケアについて、理解が十分でないため他の職員への説明を難しいですが、徐々に理解を深めていきたいと思います。
船積委員	当初は利用者確保が難しかったが、今は働き手の確保が難しく、資料１の目標にある介護人材確保の推進について期待しています。 認知症施策検討会について協力していきたいと思います。
河野委員	求められていることは多いが、まだできていない部分も多いです。病院職員の意識改革のため講座も開催してきました。介護負担の軽減を図るため、レスパイト入院も多くなっています。 3 月 19 日（木）宍粟総合病院で地域包括ケアシステムの講座を開きます。どなたでも参加可能です。
大谷副会長	民生児童委員連絡協議会から、協力員も加えて、地域包括ケアシステムについて講座をお願いしたいです。
事務局	緊急通報システムの民間委託の説明
大谷副会長	閉会